

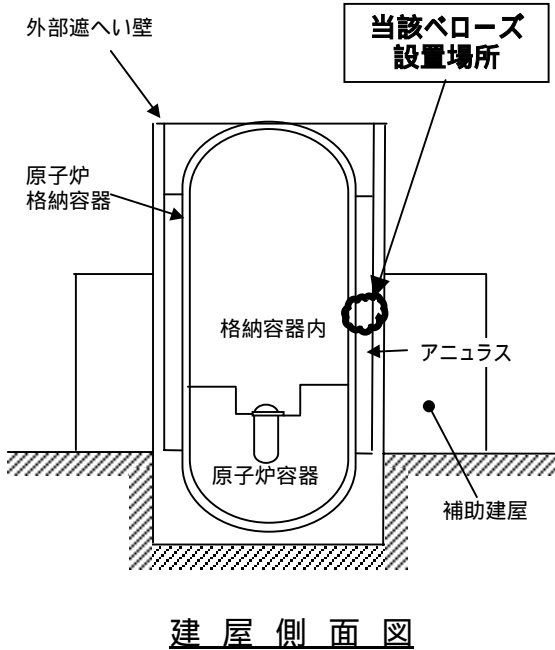
図 - 1 格納容器送気ラインベローズ取替工事

工事概要

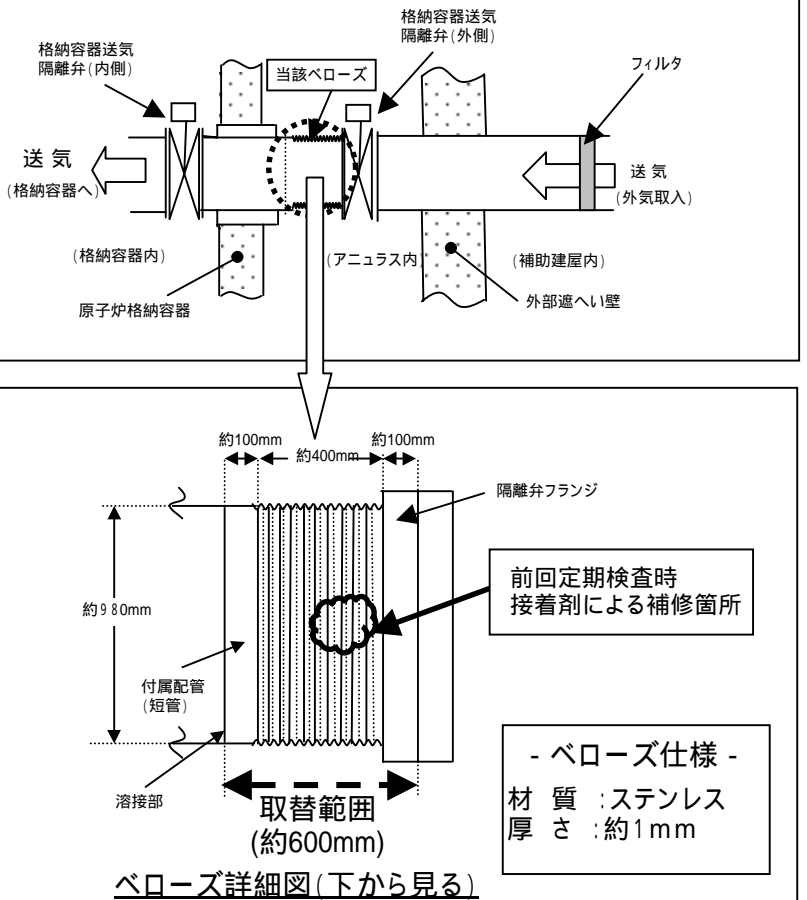
前回定期検査において、格納容器送気ライン^{*1}のベローズ（伸縮継手）に貫通穴が確認されたことから、接着剤による補修を行った。
 今回定期検査においては、今後の保全に万全を期す観点から当該ベローズおよび前後の配管を、同仕様（ステンレス）のものに取り替える。

*1：格納容器送気ライン：定期検査時などのプラント停止に、格納容器内へ送る外気を通す配管

ベローズ取替箇所概略図



ベローズ取替範囲拡大図



前回定期検査における事象概要

格納容器漏えい率検査の局部漏えい率検査において、格納容器内の隔離弁の漏えい確認（社内事前検査）のため、格納容器送気（外気取り入れ）ラインを空気で加圧したところ、同ラインの一部であり、格納容器外周部に設置しているベローズ（伸縮継手）から貫通穴が認められた。

対策として、ベローズ内面より、貫通穴部を含む周辺箇所について接着剤を塗布し、損傷部の補修を実施した。
 原因は、定期検査毎に当該ラインの運転停止を繰り返してきたことにより、取り入れた外気に含まれる僅かな海塩粒子がベローズ内面に付着・濃縮し、これを起点とした塩素型応力腐食割れ等によって損傷に至ったものと推定された。